

横浜市訪問介護連絡協議会 令和3年度 第4回幹事会

場所	Zoomによるweb会議
日時	令和3年9月14日(火) 18:35~20:00
議題	<p>(1) 横浜市より</p> <p>(2) 各幹事連絡先の確認</p> <p>(3) 各委員会進捗状況</p> <p>(4) 各委員会に分かれて打ち合わせ</p>
出席者 (敬称略)	<p><役員>佐藤・細川・澤田・芳原・齋藤・笠原・北村・正木・花摘・本間・水梨 (欠席) 田中、花井</p> <p><各区代表・幹事> (事業所名略) 鶴見区: 田村 神奈川区: 木俣 西区: 神崎 中区: 岩本 保土ヶ谷区: 陸 瀬谷区: 永原、阿部 戸塚区: 奥村、金沢区: 岩本 栄区: 知花 港北区: 菅原、都筑区: 青柳 欠席区: 泉区、青葉区</p>
議題	<p>(1) 横浜市より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得支援事業申請状況 8月末現在、27名申請、横浜市としても、広報ツールを使い周知させていく。 ・サービスA従事者向けオンライン研修 今までは標準テキストにて各事業所で行っていたが、今後は、横浜市主催の入門研修(21時間)を受講することによって従事することができることとなった。9/1より受付開始した。チラシは区の窓口に用意する。また、振興会のホームページでも内容の閲覧が可能である。横浜市からケアマネ、ケアプラザにサービスAを利用するよう働きかける。 ・新型コロナウイルス感染症に対する要望への対応 <ol style="list-style-type: none"> ① 感染者対応時の防護具着脱手順の配信 →Youtubeの動画があるので、市では特に用意はしない。 ② 新型コロナ感染症が疑われる利用者へのPCR検査の自宅派遣 →現在、実施しておらず、実施予定もない。感染症センターに問い合わせると実施している機関を紹介してくれる。 ③ PCR検査を実施している医療機関の情報提供 →実施している機関は1000ヶ所あまりであるので、身近な医療機関に問い合わせしてほしい。 ④ 介護従事者家族へのワクチン優先接種 →全体で枠が増えて予約が取りやすくなっているので、そちらを活用してほしい。 ⑤ 濃厚接触者の新しい定義 →厚労省の定義どおりである。陽性者との最終接触後、14日間外出は自粛してほしい。 ⑥ 个人防护具セットの各区に設置 →各区に設置は難しいので、市役所に取りに来てほしい。 ⑦ 「訪問系サービスの利用者・職員が新型コロナウイルス感染症の疑いが発生した以降の対応について(12月25日更新版)以降の更新の有無 →更新は無い。

	<p>(2) 各幹事連絡先の確認</p> <p>代表幹事に名簿を送付したので、内容確認を行ってほしい。メールが届かない場合は連絡してほしい。また、協議会からのメールとわかりやすいように、印を付けてみることをとする。</p> <p>(3) 各委員会進捗状況</p> <p>(広報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ヘルパーの出来る事出来ない事」のチラシは、予算上、外注では難しいが、別の形で出したいので、広報委員会で検討する。 ・Q&A コーナーの更新 新しいQ&A、次回は「介護保険を利用するには？」とする予定である。その後、「ヘルパーを利用するには？」等、つなげて行きたい。 ・「会員たちのブログ」は、次回更新では栄区を掲載予定、その次は瀬谷区とする。 ・ホームページのトピックでコロナ関連のリンクもあるので利用してほしい。 <p>(多職種連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月開催予定である。参加型で意見交換ができる形としたい。 ・緊急時の医療連携の取り方の形ができれば良い。また、濃厚接触者にならないよう医療従事者はどうしているか、勉強できればよい。 <p>(研修)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年11月17日(水)13:30~15:10 Zoomによるオンライン講義 ・災害時にヘルパーはどうすべきか、という視点から、テーマは、「東日本大震災の経験から学ぶ私たちにできること」とし、講師は石巻の訪問介護事業所で震災を体験された方にサ責、ヘルパーの視点で災害時の対応(ケアの提供、事業の再開、自分はどうするか等)について話をしていただく。 <p>(4) 各委員会に分かれ打合せを行った。</p>
配布先	上記出席者及び欠席役員幹事
次回開催日	令和3年10月19日 18:30~